

ふしのがわ  
**榎野川河口域・干潟自然再生協議会の取組**

## 1 再生内容

### 干潟の再生

榎野川河口干潟等の自然環境の再生・維持に取り組む。

## 2 自然再生協議会

平成16年8月に組織化し、現在の構成員数56。

個人(専門家を含む)24、団体18、関係地方公共団体11、関係行政機関3

## 3 自然再生全体構想

平成17年3月に作成

### ○自然再生の対象区域

榎野川河口域、干潟(344ha)及び山口湾。

### ○自然再生の目標

榎野川河口干潟等の現況、榎野川流域での変遷や変化を把握し、河口干潟等の再生の目標を「里海の再生」と位置づけて取り組む。

①豊かな泥干潟の区域、②豊かな砂干潟の区域、③カブトガニ産卵場保全区域、④豊かなアマモ場・浅場、⑤豊かな泥浜・レク干潟、⑥豊かな後浜(後背地)の区域、⑦現状干潟の観察・維持区域の7つにゾーニングして目標達成を目指す。

## 4 自然再生事業実施計画

実施計画の策定については検討中。

### 【進捗状況】

#### ①干潟再生；

- ・カキ殻高密度分布域であった中潟において殻粉碎工法や耕耘混合砂工法による低質環境改善を実施。(モニタリング調査(H22.4)においてアサリ(100個/m<sup>2</sup>)の生息を確認)
- ・南潟において住民参加により干潟の耕耘作業、竹柵・被覆網を設置。(被覆網設置箇所において漁獲サイズ以上(3cm以上)のアサリを確認(H21))

#### ②アマモ場の再生；

漁業者、地域住民の協働によるアマモの花枝採集及び播種。(アマモの生育場所が142haに回復(H20))

#### ③カブトガニ幼生生息調査；カブトガニ産卵・生息場の保全を図るための幼生の生育状況調査を実施。

# 榎野川河口域・干潟自然再生協議会

◆自然再生の対象となる区域（山口県山口市）  
榎野川河口域から山口湾内の干潟等

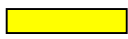
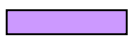

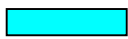



◆自然再生の基本的な考え方と方向性  
○自然再生の3つの視点(流域構想等を踏まえ)  
・榎野川河口干潟等の生物多様性の確保  
・多様な主体の参画と産学官民の協働・連携  
・科学的知見に基づく順応的取組

○人が適度な働きかけを継続することで、自然からのあらゆる恵みを持続的に享受できる場、いわゆる『里海』の再生を目指す。

◆自然再生の目標

『里海』の再生

具体的な目標 <自然再生ゾーニング>

-  : 豊かな泥干潟の区域
-  : 豊かな砂干潟の区域
-  : カブトガニ産卵場保全区域
-  : 豊かなアマモ場・浅場
-  : 豊かな泥浜・レク干潟
-  : 豊かな後浜（背後地）の区域
-  : 現状干潟の観察・維持区域



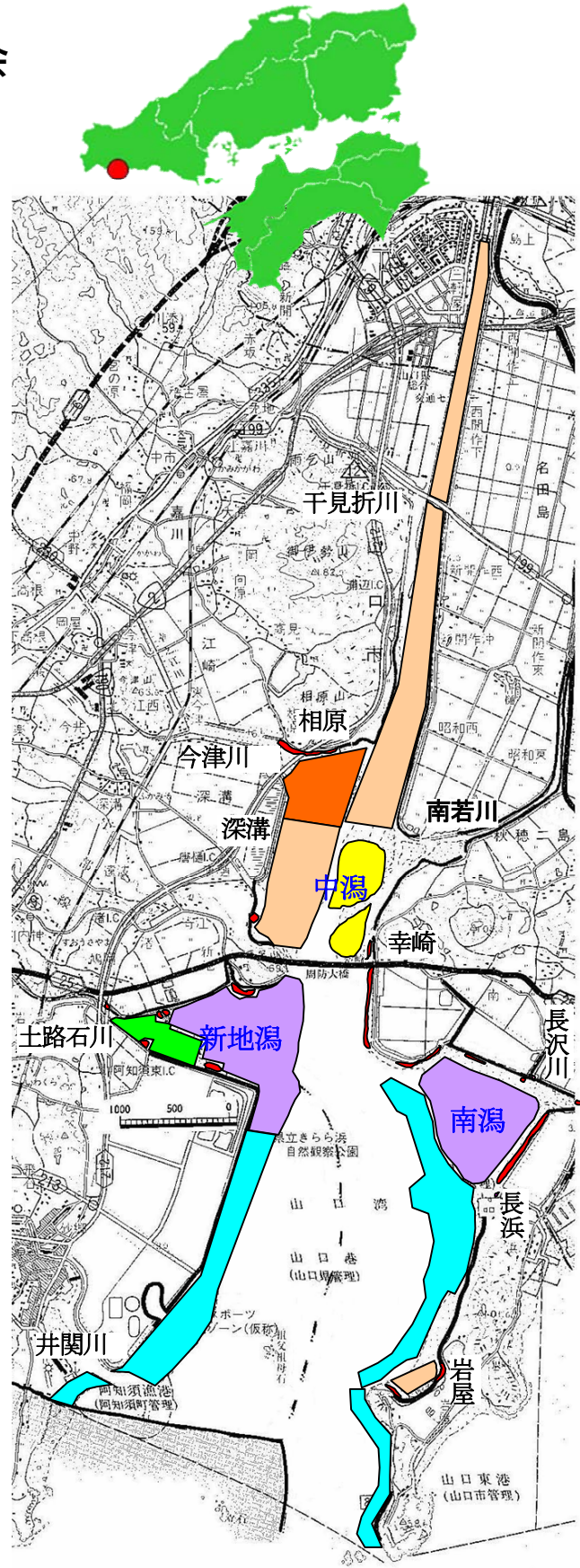
干潟耕耘作業の様子



アマモ生育の様子



カブトガニの産卵場の保全



ここに示すゾーニングはイメージであって、具体的な検討はそれぞれの事業主体において、行われるものである。

自然再生の対象となる区域  
(全体構想より)